

科目名	社会保障論						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	1年	開講時期	前期	単位数	2単位
担当教員	熊沢 由美						

内容および計画	この講義は、社会保障、とくに日本の社会保障について理解を深めることを目的としています。日本では、少子高齢化などによって、社会保障に期待される役割はより大きなものになっています。しかし、財政的な制約のために、社会保障を拡充することは容易ではないこともまた事実です。このような状況のなかで、日本の社会保障は制度改革が進められています。本講義では、概念や歴史といった社会保障の全体像について学び、あわせて、現代日本の社会保障の制度のうち、公的扶助、社会福祉、社会手当、公衆衛生について取り上げます。また、社会保障に大きな影響を与える少子高齢化と人口減少についても取り上げます。
1	社会保障とは何か
2	欧米における社会保障の歴史（1）救貧法など
3	欧米における社会保障の歴史（2）社会保障法など
4	日本における社会保障の歴史
5	公的扶助（1）生活保護の給付
6	公的扶助（2）生活保護の実施状況と課題
7	公的扶助（3）ホームレス
8	公的扶助（4）貧困とは
9	社会福祉（1）福祉六法など
10	社会福祉（2）児童福祉
11	社会福祉（3）障害者福祉、高齢者福祉など
12	社会手当
13	公衆衛生
14	社会保障の行財政
15	少子高齢化と人口減少

教科書	講義資料を配付します。
-----	-------------

参考書	阿部裕二編『社会保障』弘文堂、2017年
-----	----------------------

成績評価	評価方法		割合
	定期試験（筆記試験）		90%
	授業中の課題提出（DVDの感想など）		10%

学習到達目標	（1）日本の社会保障の全体像を把握すること。（2）給付の仕組みなど、利用する立場に立って、制度の理解を深めること。
--------	---

先修条件	
------	--

その他	受講生の関心や理解度により、授業計画を変更する可能性があります。
-----	----------------------------------